



オペラ歌手らしい豊かな声量。それによって歌曲は透明感にあふれ、繊細な感情も表現する。世界的に活躍するソプラノ歌手、ティリアーナ・ドゥカーティさん。写真が28日、福岡市中央区のアクロス福岡シンフォニーホールでコンサートを開く。「音楽を通して心の一番深いところでお客さんとコミュニケーションしてきたら」と意気込む。

### 世界的ソプラノ歌手ドゥカーティさん 福岡市で28日コンサート



コンクールで優勝。イタリア伝統のバルカント唱法を究め、各地の歌劇場で主役を務め、ルチアーノ・パバロツティ、レオヌッチらと共演した。近年、拠点を日本に移

して活動している。コンサートは同市在住の岩永裕子、明子さん親子が中心となって発足させた後援会が企画。バイオリンに川島成道、ピアノに山口研生を迎え、シエーベルトの「アウエー・マリナー」、フッチーニの「私のお父様」などを披露する。「叙情的な日本の歌も好き」と、成田為三作曲の「浜辺の歌」も歌う。イタリアではオペラ歌手の歌声を「神からの授かりもの」と表現することがある。「授かったもの

だから分け合つのが大事と考えています」と言う。熊本県御船町の平成音楽大で客員教授を務める縁から熊本地震の復興演奏会にも参加した。今回の収益は子どもからの電話相談を受け付ける同市のNPO法人「もしもしキモチ」に寄付する。

料金は一般4千円など。後援会は中高生対象の親子ペアチケットで5組を無料招待する。問い合わせは岩永さん(080077441015)。(小川祥平)